

令和5年度 通学路対策箇所一覧表

令和6年3月31日時点

番号	は、令和5年度合同点検箇所
番号	は、過去に合同点検を行ったところを再度点検した箇所

【上野東小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和5年度合同点検結果	令和6年3月31日時点対策状況
280	(株)安永から上野東小学校周辺にかけての南西側の路肩および歩道	歩道の側溝に溝蓋がない箇所がある。また、溝蓋はあるが経年劣化で凹凸が目立ち、歩行が困難である。	R2	市道路管理者		令和6年度以降に溝蓋整備計画あり。
373	上野東小学校と緑ヶ丘中学校の間の市道愛宕町線ヶ丘南町線	歩道は整備されているが、朝の登校や一斉下校時には、同時刻に100人程度の児童が一斉に利用するため、非常に混み合い転倒や歩道からのみ出しが懸念される。よって、当該歩道の拡幅をお願いしたい。 また、横断防止策は設置されているが、交通車両と歩行者の空間が狭く、危険な状況にある。このため、横断防止柵からガードレールのような強固な防護柵の設置と車両と歩行者の安全な空間確保を併せてお願いしたい。	R4	市道路管理者		令和5年度完了。
376	市道西明寺線ヶ丘線と市道愛宕町線ヶ丘南町線交差点信号	朝の登校時、横断児童が多く一度で横断できないため、集団登校に影響する。また朝の交通量が多いにも関わらず、市道荒木木興線の信号が短く、急いでいる右左折の自動車が横断児童をかすめるように右左折する現状がある。そのため、市道荒木木興線の信号を、朝の登校時に長く設定するか、歩車分離の信号にしていきたい。	R4	警察		交通量調査を実施したところ、市道愛宕町線ヶ丘南町線の交通量が3倍であり、現状維持が望ましいと考える。地域での見守り等、ソフト面での対応願います。
377	県道服部橋新都市線と市道西明寺線ヶ丘線交差点（白鳳高校前）	通学児童が多いにも関わらず、県道服部橋新都市線を横断する歩行者信号が短く一度で横断できず、集団登校に影響する。また急いでいる右左折の自動車が横断児童をかすめるように右左折する現状がある。そのため、県道服部橋新都市線の歩行者横断秒数の延長を、朝の登校時に長く設定していただきたい。	R4	警察		複雑な交差点であること、小・中・高が通学に利用していること等から、1つの信号を長くすると、その分他の信号が短くなり、一般含む他の歩行者にも影響が出るため、現状維持が望ましいと考える。地域での見守り等、ソフト面での対応願います。
378	市道線ヶ丘東町田端線	歩道が狭く、また電柱や標識が歩道上に設置されており、歩行者が車道へ降りざるをえないため、歩道の拡幅をお願いしたい。	R4	市道路管理者 教育委員会		スペースが狭く、歩道拡幅は困難。地域での見守り等、ソフト面での対応願います。
380	市道田端線ヶ丘中学校線	幅員狭小道路であるが、主要地方道上野大山田線への抜け道になっており、朝の交通量が多く、また、一方通行無視の自動車も多く、非常に危険であるため、路側帯の設置とカラー舗装をお願いしたい。	R4	市道路管理者		地区からも別途要望あり。今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
381	市道友生架道橋八反田橋線 レジデンシャル金剛～サラン金剛	交通量が多いにもかかわらず、安全対策がなされていないため、歩道またはガードパイプの設置をお願いしたい。	R4	市道路管理者		スペースがない。 地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
432	市道下友生桑町線 名阪国道高架下付近	登校時間帯、通勤等の抜け道となっており、見通しが悪いかかわらず、交通量が多く、スピードを出して走る車も多い。グリーンベルト等、運転者に注意を促す手立てをお願いしたい。※23人が当該箇所を登下校	R5	市道路管理者	「スクールゾーン」の表示があるといい。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
433	市道線ヶ丘中学校の1線と市道田端線ヶ丘中学校線の三叉路 線ヶ丘中学校北門（テニスコート）付近	登校時、市道田端線ヶ丘線を右側通行して南進する際、横断歩道のない線ヶ丘中学校の1線を横断しなければならない。横断歩道の新設をお願いしたい。 ※97人が当該箇所を登下校	R5	市道路管理者	横断歩道を設置するには、歩道・歩行者だまりが必要だが、スペースが確保できない。和食さとの一方通行の道に外側線を引くことも検討してはどうか。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
434	市道西明寺線ヶ丘線の線ヶ丘中学校以西から白鳳高校前交差点までの区間	白鳳高校前交差点から線ヶ丘中学校までの区間、歩道がなく危険である。現在も朝夕の交通量が多く、特に登校時は走行中の車と歩行者の児童の距離が非常に近い。また通勤路上、交差点近くであるため、スピードを出す車も少なくない。さらに当該道路が整備され、西明寺まで開通した際には、交通量の増加も考えられるため、グリーンベルト等、運転者に注意を促す手立てをお願いしたい。※75人が当該箇所を登下校	R5	市道路管理者	白鳳向かって左側の外側線を塗りなおし、その外側20～30センチをグリーンベルトにできないか検討する。通学路を変えることも検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。

【上野西小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
382	上野運動公園南側の通学路	歩道が狭く、車もよく通り危険。	R4	市道路管理者		R163歩道へ通学路変更することを検討。
383	上野運動公園側の細い道の所の深い溝。学校に向かってカーブが終わったあたり	車が多く、白線の内側も狭く、側溝にフタもなく深いのでとても危険。何か対策が必要。	R4	市道路管理者		R163歩道へ通学路変更することを検討。
388	万町の西之立町通りの萬町公民館から摂津商事あたりの通学路	道が狭く、車が多いので危険。「あぶない看板」は2本設置したが、他にも対策が必要。 【R5追加】「子ども注意」「スクールゾーン」等の路面表示をお願いしたい。	R4 R5	市道路管理者	看板が目立ちにくい。看板を電柱や街灯につけてみてどうか。中部電力やN T T に申請が必要。	439（中之立町通り）との通学路統合を検討してみてはどうか。 今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
431	寺町通りの北、踏切～大通りの区間	銀座通り～上野天神宮～寺町の区間において、一方通行が解除され終日相互通行となることから、周辺の交通量が増加することが見込まれるため、通学路である本区間を車で通行する運転者への注意喚起として、スクールゾーンの表記と路側帯の塗り分けをお願いしたい。	R4	市道路管理者		今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
435	上野運動公園南側の通学路	歩道が狭く、車もよく通り危険なので、「子ども注意」「スクールゾーン」等の路面表示をお願いしたい。	R5	市道路管理者	外側線はあるが電柱もあり狭い。外側線を反対側にしてはどうか。新しい道ができているので通学路を見直してはどうか。	R163歩道へ通学路変更することを検討。
436	赤門前から崇広中学校前までの歩道	現在、史跡旧崇広堂の前の道からブラウンベルト(グリーンベルト)が途中で引かれている。安全のため、最後まで引いてほしい。	R5	県道路管理者	赤門前から崇広中学校前までの路側帯にグリーンベルトを設置する。	対策済。
437	鍵屋の辻～西大手の交差点にあがる通学路	歩道が狭く、交通量も多いため大変危険。歩道の白線が消えているので塗り直してほしい。また、歩道どとはっきりわかるよう、グリーンベルトかボールの設置をお願いしたい。	R5	警察 市道路管理者	薄くなり、消えかけている。歩道が狭い。車の通行非常に多い。車道をこれ以上狭めることは難しい。センターラインを消して外側線を書くこともできるが、大型車などの心配もあり、地域の意見を聞く必要がある。	大型車も多いが、車道スペースも狭く、歩行者スペースの確保は困難。通学路変更等、ソフト面の対応検討願う。
438	アクアクリニック～西之立町通りの通学路	歩道が狭く路上駐車もあり大変危険。ブラウンベルト(グリーンベルト)をお願いしたい。道幅が狭く困難な場所には、「子ども注意」「スクールゾーン」等の路面表示をお願いしたい。	R5	市道路管理者	グリーンベルト設置については検討可。通学人数も多いため、これ以外の方法も対応検討する。	439（中之立町通り）との通学路統合を検討してみてはどうか。
439	上野本町郵便局前～中之立町通り～タル井スポーツ店あたりまでの通学路	白線はあるが、歩道が狭く大変危険。ブラウンベルト(グリーンベルト)をお願いしたい。	R5	市道路管理者	グリーンベルト設置については検討可。通学人数も多いため、これ以外の方法も対応検討する。	令和6年度、グリーンベルト設置を検討。車道を狭めることについて地区での協議を願いたい。 388との通学路統合を検討してみてはどうか。

【久米小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
186	旧スーパー銭湯「伊賀の湯」より東へ、川沿いの道を桑町橋まで	銀座通りからの車で、交通量が多い上に路側帯が無い。 【R5】グリーンベルトもしくはスクールゾーン明記（アオキ前にはあるが）（6人）	H29 R5	市道路管理者 教育委員会	検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
250	伊賀警察署前付近の溝	溝蓋のない箇所があり、通学途中の児童がはまることがある。 【R5】警察署前からR442交差点までグリーンベルトもしくはスクールゾーン明記。（27人）	R1 R5	教育委員会 市道路管理者	外側線を引く(両側)のは可能だろう。でも、通ることを前提にするのであれば、転落防止対策が必要になる。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
440	陽光台からの名阪ボックス（通称）出口付近の横断	道路幅は狭いが車の通りもあるため、道路を横断する際に危険である。横断歩道が必要。また道路上に「スクールゾーン」と明記。（73人）	R5	市道路管理者	通常は右側通行だが、危険を回避するための左側通行は警察としてもOK。横断歩道は道幅的にも安全面的にも難しい。現在の路側帯を内側にして、グリーンベルトを引くのは可能かもしれないが車道が狭くなる。	令和6年度グリーンベルト設置を検討。車道を狭める地区協議を願いたい。
441	コスモ石油から学校前まで	道路幅は狭いが車の通りもあるため、グリーンベルトまた道路上に「スクールゾーン」と明記。（6人）	R5	市道路管理者	検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
442	四十九からの名阪ボックス（通称）から学校まで	道路幅は狭いが車の通りもあるため、グリーンベルトまた道路上に「スクールゾーン」と明記。（30人）	R5	市道路管理者	スクールゾーン、グリーンベルトもしくは路側帯など検討する。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
443	勸進辻から学校まで	道路幅は狭いが車の通りもあるため、グリーンベルトまた道路上に「スクールゾーン」と明記。（37人）	R5	市道路管理者	抜け道になっていて通りも多い。グリーンベルトかスクールゾーン表記を検討する。	令和6年度グリーンベルト設置を検討。車道を狭める地区協議を願いたい。
444	学校付近（西側）通学路（農道）	道路幅は狭いが車の通りもあるため、道路上に「スクールゾーン」と明記。（73人）	R5	市道路管理者 農道	途中から認定されていない農道。（農村整備課と相談）車のおりが多いのか、抜け道というより地元の人が通るため、子どもが通る道とわかっていないのか。	地元車農耕車両しか通らないと思われるため、路面表示等の効果は薄いと思われる。地域での見守り等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。

【上野北小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
390	県道680号高倉佐那具線の西高倉バス停より小学校までの約560m	狭い歩道（路側帯）を車道にはみ出して登下校している。道の両側とも用水路であり、車をよけるところがない。 【R5】用水路が深く落下の危険がある箇所については、昨年の点検後、柵がつけられた。同箇所について「グリーンベルトの延長」、「減速マーク」表示により車両に減速を促したい。また、道路北側にガードパイプを設置し、安全確保ができないか。通学路として使用する児童は45名。	R4 R5	県道路管理者	グリーンベルトの全長整備は困難であることから設置箇所を検討する。 ガードパイプは、令和4年度に設置しており、これ以上は対応困難。	グリーンベルトの全長整備は困難であることから効果的な箇所（交差点部）に設置済。 減速を促すため「通学路注意」看板を設置済。
391	J R線新居踏切（西高倉バス停近く）の側溝	側溝（マス）に注意喚起のバーは正面に3本立っているが、側面からや反対側から落ちる可能性があり、危険である。溝ブタを敷設していただきたい。（中学生が徒歩で誤って落ち、膝を4針縫つけがを負ったことがある。）昨年度の市議会議員による通学路点検では、踏切についてはJRの管轄地であり、側溝取り付けは難しいということだった。難しいのであれば、今、北側に設置されている反射板を南側にも取り付け、注意を促していく。	R4 R5	—	・踏切内は鉄道会社の管轄であり、対応困難である。	踏切内は鉄道会社の管轄であり、対応は困難。 地域での見守り等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
445	県道680号高倉佐那具線の東高倉公民館付近から上野北小学校までの約550m	新居駅から道路の幅が学校に向かって狭くなるが、車が速度を落とさずカーブにさしかかることもある。新居駅に向かう中学生もおり、大変危険である。 現在、スクールゾーンと減速を促す路面標示があるが、薄くて見えないため、補修が必要。学校から八百八フーズ前まではグリーンベルトがあるが、延長できないか。関連の通学路を使用する児童は95名。	R5	県道路管理者	スクールゾーンについては学校から離れすぎている。 グリーンベルトについて全長整備は困難であることから別の対策も含めて検討する。	児童の多い区間にグリーンベルト設置済み。（R3年度） 東への延長について対策は困難。
446	上野北小西門前	児童が学校に出入りする際に渡る横断歩道が西門前にある。保護者の車も出入りすることが多い。この道路がカーブしており見通しが悪い。車がスピードを出してくるので、状況を把握するためにもカーブミラーを設置してほしい。横断歩道を通学のために渡る児童は86名。	R5	市道路管理者 県道路管理者	学校から出るところ(市道以外)に立てる場合、学校の施設として県へ占用申請してもらおう。片側にパイプガードレールの設置はどうかという声もあったが、幅が狭すぎて自転車が通れないので無理。	県道への乗入に必要なカーブミラーは、乗入する人（学校・教育委員会）で設置してもらいたい。（県）

【府中小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
207	府中小学校北側の道路(大和街道)	約8割の児童が利用している学校北側の道路(大和街道)は、児童通学時の車の交通量が多い。府中保育園の開園、府中保育園と佐那具保育所の合併、給食センターの新設により、交通量が増加するものと思われる。車道と歩道を分離する車線分離標(ラバーポール)及び歩行者帯の措置が必要である。	H30	市道路管理者		450のグリーンベルトも含め、歩行者通行エリアの拡幅を令和6年度以降で計画している。
319	アビタ東交差点	「アビタ」東交差点は、城東中学校生徒のうち交差点より南側に住む生徒約90名(自転車通学)の通学路となっており、この交差点で右左折をする。また、この地点より南側に住む府中小学校の児童数名は、交差点を南北へ横断する。 登校時には城東中学校生徒(自転車通学生)が短時間に多数、一旦北へ横断し右折して東へ進む。交差点を西へ向かう車の往来も激しい。交差点の南北方向には歩行者用信号が設置されており、現状の信号位置が高く、横断しようとする前方の視野に入らないので、赤信号に変わったことに気づかず横断する生徒もいる。西進しようとして停止している車両からもブロック塀が障害となり自転車通学生が見えない。また、交差点西側には待機スペースがほとんどなく、2台以上の自転車が待機できない状態。年に何度か接触事故も発生しており、歩行者用信号の設置と交差点内の待機場所の確保について対策が必要。 また、下校時には、交差点を東から南に向きを変えます。この際、交差点東側にある電柱が妨げになり、自転車は大きく車道にはみ出すこととなります。さらに信号が赤のときは停止するのにも電柱が邪魔になっています。ぜひともこの点を考慮した電柱の移動もしくは撤去をお願いいたします。	R3	市道路管理者 教育委員会 警察		歩行者用灯器増灯済。
392	JR関西本線土橋橋北側の県道「高倉佐那具線」の交差点付近	該当場所は、山神地区の児童と土橋地区の児童が横断する場所であるが、現在、山神橋が工事中のため、土橋橋に迂回してくる車が増えたとともに、時速60km前後で児童のすぐ横を通り抜ける車が多く、大変危険である。 歩道の新設、あるいは、歩道と横断歩道の新設をお願いしたい。(別紙 改善案1・2)	R4	県道路管理者		7
393	国道25号線金丸脳脊髄外科前	佐那具町地内の国道25号線は、物資輸送のトラック等往来があり、とても交通量が多い状況である。現在、25号線南側に居住している児童・生徒は通学のため国道25号線を横断しており大変危険である。 早急に金丸脳脊髄外科前に横断歩道の設置をお願いしたい。	R4	警察 県道路管理者		継続
423	ハイツ芭蕉 千歳903の1付近(株)ミヤケ調整池間道路	当該道路は中学生の自転車通学路となっているが、区間内数ヶ所にびびが入っており、通行するに危険であるため、補修を依頼したい。	R4	—		里道に準じた道と考えられる。基本的に利用者で維持管理をお願いしたい。
447	府中小学校敷地南東の交差点	一宮・ハイツ芭蕉地区の約90名が横断しているこの交差点は、交通量が多く、直線で信号が少ないので、自動車はかなり速いスピードで走行している。ドライバーが交差点部の存在を事前に認識できるよう交差点部を色彩によって区別してほしい。(カラー舗装)	R5	市道路管理者	すでに車に対してはひし形マークがある。子どもたちが守られるよう、ポール設置を検討。「あぶない看板」の設置も。	令和6年度、交差点カラー舗装検討。
448	千歳交差点(信号)から南西240mの交差点	ハイツ芭蕉地区の約80名が横断しているこの交差点は、信号が少なく、自動車はかなり速いスピードで走行している。見通しも悪く、危険な状態である。2年前、横断歩道が薄くなっているので横断歩道の塗り替えをしていただいたが、ドライバーが交差点部の存在を事前に認識できるよう、更に交差点部を色彩によって区別してほしい。(カラー舗装)	R5	県道路管理者	交差点部のカラー化については、別の対策も含めて検討する。	「横断歩道注意」看板を設置済。
449	府中小学校周辺 学校正門から南東交差点①②③・府中保育園①②④まで	一宮・ハイツ芭蕉・東条地区の児童約100人が通学している。また、学童(ウイング)に行く児童も(約40人)この道を通っている。路側帯を緑色に着色して、車両の速度を抑制させ、歩行者との接触事故を防ぐためにも、グリーンベルトを設置してほしい。	R5	市道路管理者	可能だが、予算を見て優先的に実施。	令和6年度グリーンベルト設置を検討。車道を狭める地区協議を願いたい。
450	府中小学校周辺 学校正門から市民センター駐車場手前まで①②	服部地区や佐那具地区など約110人の児童が通学している。道幅は広く、白線もあるが、路側帯を緑色に着色して、車両の速度を抑制させ、歩行者との接触事故を防ぐためにも、グリーンベルトを設置してほしい。	R5	市道路管理者	可能だが、予算を見て優先的に実施。	令和6年度グリーンベルト設置を検討。車道狭める地区協議を願いたい。 ①については、歩行者通行エリアの拡幅を令和6年度検討している。

【中瀬小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
32	国道163号と旧伊賀街道（中瀬小の前の道路）の三叉路交差点（寺田橋南側、かまどやの横）	ポストコーンは設置してあるが、店の前に車が駐車してあったり、国道から勢いよく左折してくる車があったり子どもを巻き込む危険性が高い。 （追記）歩道橋が撤去される時、道路を横断する児童に危険がないように歩道とガードレールの設置、信号の待機場所にも危険がないように要望したい。また、どう改良されるかを知らせていただきたい。	H27	県道路管理者		橋の架け替え工事に伴い、交差点を改良する。
33	国道163号から寺田方面へ入っていく交差点（寺田橋北側）	交通量が多く、寺田方面へ往來の車が、南寺田方面へ往來する児童をはねる危険がある。国道163号が急カーブしているため、スピードを出した車が曲がりきれず、突っ込んでくる。（以前にも数回事故があった）	H27	県道路管理者		橋の架け替え工事に伴い、交差点を改良する。
34	上荒木地区内道路（市道）	道幅が狭く、大きな用水路がある。柵がないため、用水路に落ちる危険がある。（以前に落ちた児童があり、危険である。）	H27	市道路管理者		幅員狭小のため、対策困難。 地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
370	旧伊賀街道中瀬小学校付近の市道	城東中学校生徒と中瀬小学校児童が旧伊賀街道南側の路側帯を対面して通行することになり、極めて危険な状態が起こっている。その危険を回避するため、中学生の自主的な判断により、交差点手前の横断歩道で事前に横断し、旧伊賀街道北側の路側帯寄りを通行することにより小学生の通行の妨げにならないように通行している生徒が多数見られるが、この行為は、車両は左側通行しなければならないという道路交通法に違反している。中瀬小学校用地を使い、せめて電柱を移動させる等、旧伊賀街道南側の路側帯を拡幅、又は歩道を設置する等の改善を図っていただきたい。 【R5】車両がよく通り、歩道も狭いので、中瀬小学校から荒木方面と羽根方面、それぞれ500m範囲内でグリーンベルトにしていただきたい。（通学児童数は94名）	R4 R5	市道路管理者	狭い。（※自転車右側通行はダメ）数年以内に道幅を広げると計画中（申請中）。ガードパイプも検討。警察とも連携。	小学校側にフェンスをずらし、歩道を確保する。 令和5年度以降に実施予定。 歩道拡幅については、通学路変更にて対応のため、不要となる可能性が高い。 令和6年度グリーンベルト検討。車道を狭める地区協議を願いたい。
422	学校前交差点から西方向にある163号線へつながる旧道 旧道と163号線が合流する三叉路（ポリストーン付近）から約90m北にのびる狭道、その先の三叉路を西へ折れる約60mの道路	旧道は信号がないため、163号へぬける道として利用する車が多く、スピードも出ている。横断歩道がなく、白線も薄いため、左側通行を検討しなければいけない現状である。横断歩道の設置を第一にお願いしたい。それが無理であれば、せめて外側線（両方）の塗り直しをお願いしたい。狭道から西へ折れる約60mの道路についても外側線（両方）の塗り直しが必要である。また、三叉路2カ所付近には注意喚起を呼びかけるようなラインや標識等が必要である。	R4	市道路管理者（警察）		令和4年度外側線修繕済。
451	中瀬小学校前交差点	7：30から8：30までは西明寺・羽根・高畑方面の道路から学校正門前の道路へは進入禁止となっているが、車両が進入してくることがよくある。また、高畑橋からの道路は下り坂になっていて、車のスピードが出やすい。今年3月には、交差点付近でバイクと車との衝突事故が起こっている。交差点のカラー塗装、高畑橋からの下り坂に路面表示（スクールゾーン）等の注意喚起をお願いしたい。<通学児童数は、34名>	R5	警察 市道路管理者	標識があるので、これ以上のことはできない。自治協などであぶない看板などを設置してもよいのではないかと。 坂を下ってすぐ信号は危険。減速帯、カラー舗装、グリーンベルト、外側線など、検討していく。外側線を引くこともできるが、その分車道が狭くなるので、地域との話し合いも必要。	令和6年度、交差点カラー舗装、スクールゾーン、看板等検討。

【友生小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
452	小学校前運動場沿いからゆめの門	28人の児童が歩く際に、自動車や自転車のスピードが速く、歩道白線がひかれていないため、危険である。グリーンベルトを運動場側沿いに設置してほしい。	R5	市道路管理者	まずは外側線を引くことを検討。蓋の部分に色を塗るか。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
453	県道依那具荒木線のつどい橋より「サンタ」の交差点から川治い	19人の児童が歩く際に、自動車のスピードが速く危険である。グリーンベルトを川治いに設置してほしい。	R5	市道路管理者	まずは外側線を引くことを検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
454	ゆめが丘四丁目とりで公園側のまわり	29人の児童の集合場所にもなっているため、道にはみだすと危険である。グリーンベルトを公園側に設置してほしい。	R5	市道路管理者	保護者からの要望多い。5.4mの道幅。検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
455	ゆめが丘六丁目市民センター前	道の両側から児童が出てくるが、道がせまく、車通りも多いので、危険である。グリーンベルトを両側に設置してほしい。（2人通学）	R5	市道路管理者	中学生の通学路にもなっている。朝の時間帯が特に交通量多い。検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
456	上野大山田線を小学校に向かって友生郵便局より一本手前を久米川方面に左折したところから森田橋	児童がバス停まで歩く際に道もせまく車のスピードが速いため危険である。グリーンベルトを設置してほしい。（2人通学）	R5	市道路管理者	検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
457	稲葉バス停付近	児童がバス停まで歩く際に車が速いスピードで歩行者すれすれに通る、危険である。雨がふっている時も、スピードを落とさず走る車もあり、大変危険である。自動車の速度制限や注意喚起等の対策をお願いしたい。	R5	県道路管理者 学校	自治会と相談して、私有地に「通学児童あり、速度落としてください」などの看板を設置してはどうか。県でも対策を検討。	令和6年度に「歩行者注意」看板を設置予定。

【上野南小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
51	旧丸山中学校からゆめが丘へ抜ける農道の交差点	朝は交通量が多くスピードを出している。横断歩道がない。車の減速をうながす表示や対策を願う。 【R5】地域の方からの要望もあり、横断歩道や通学路であることの標識に加えて、カラー舗装をお願いしたい。	H27 R5	警察 市道路管理者	横断歩道設置は、そこに至る歩道が確保されておらず歩行者だまりもないため困難。看板や旗で対応してどうか。ガードレールにくくりつけるなど。車からの見通しが悪くなる懸念もある。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
53	木津川沿いの市道（上郡公民館～郡橋）	交通量が多くスピードを出している。スクールゾーンがほしい。 【R5】朝は特に交通量が多く非常に危険である。緑色路側帯（グリーンベルト）を設置してほしい。	H27 R5	市道路管理者 教育委員会	車幅がある程度あり、見通しもよい。看板や旗のほりではどうか。グリーンベルト（西側）は検討する。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
54	市部市道（市部駅～県道153）	スクールゾーンの文字がほとんど消えている。途中の三叉路の見通し悪い。 【R5】市部駅から県道依那県市部線までの道路の幅が狭い。車幅の白線及び緑色路側帯（グリーンベルト）を設置してほしい。4人の児童が利用している。	H27 R5	市道路管理者 教育委員会	外側線の基準を満たさないので、看板を立ててはどうか。見通しがよいので、線を引いても効果は薄い。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
205	森寺区内の市道	交通量が多く、スピードを出している。	H29	市道路管理者 教育委員会		スクールゾーン表示は難しい。地元車両のみ通るため、表示や看板の効果は薄い。地域での見守りや通学路の変更、運転手のマナーを上げる方法等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
397	国道422号（学校前信号～児童宅前）の路側帯	今年度から、交通量がいへん多く、幅の狭い路側帯を通過して1年生児童が通学することになった。ガードレールも一部しかなく、たいへん危険である。 【R5】。ガードレールの設置に加えて、緑色路側帯（グリーンベルト）の設置をお願いしたい。1名の児童が利用。	R4 R5	県道路管理者	令和4年度に道路を拡幅。ガードレールは乗入の関係で設置は困難。グリーンベルトは別の対策も含めて検討する。	「通学路注意」看板を設置済。
398	国道422号（学校前信号～郡橋）の歩道外側の河川敷	歩道外側の河川敷から歩道に竹が伸びてきて、歩道をふさいでいる。そのため、児童の登下校に支障が出ている。また、伸びた夾竹桃が歩道にかかっている。夾竹桃は毒性が強いため、放置しておくのは児童にとってたいへん危険である。	R4	県道路管理者		完了。
399	国道422号（学校前信号～郡橋～依那古橋）の歩道外側の河川敷	毎年8月頃、河川敷に群生する植物にスズメバチが巣を作るため、スズメバチが大量発生し、児童の登下校がたいへん危険な状態になる。	R4	県道路管理者		完了。
429	比土～市部の南北にのびる農免道路と、R422丸山分署から東に入った道との合流地点	比土～市部の南北にのびる農免道路と、R422丸山分署から東に入った道との合流地点は、農免道路が全面開通したことから交通量が多い。また、車道と歩道の分離もされておらず、危険である。歩道の設置、合流地点の横断歩道の設置をお願いしたい。	R5	市道路管理者 警察		生徒が利用している通学路かどうか確認。
458	国道422号 上林	今年から国道422号の西側に自宅がある1年生児童1名が、通学することになった。国道を渡って上林公民館（スクールバス停留所）まで行くが交通量が多いことやスピードを出している車両が多い上、カーブの直後に横断歩道があるため、運転手からは死角になり渡るのがかなり危ない。特に横断歩道の北側はカーブ手前から長めのカラー舗装をお願いしたい。加えて、「スクールゾーン」の表示もお願いしたい。	R5	県道路管理者	スクールゾーンについては学校から離れすぎている。 カラー舗装について別の対策も含めて検討する。	「横断者注意」看板を設置済。
459	国道422号から沖の公民館に向かう道路	朝の通勤時交通量がかかり多い。12人の児童が利用している。道幅が狭い野で、危険である。緑色路側帯（グリーンベルト）の設置をお願いしたい。	R5	市道路管理者	外側線から外側がとて狭い箇所がある。全線への対応は難しい。要望はあげてみる。一部なら可能かもしれない。看板等も検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
460	国道422号の依那具（コインランドリーから猪田道駅手前）	上野南小学校の生徒の通学路になっている。登下校時、近鉄猪田道駅近くのスクールバス停留所に行くために国道を渡っている。通学時間帯は、特に交通量が多く、非常に危険なため、緑色路側帯（グリーンベルト）の設置をお願いしたい。あわせて、横断歩道の設置をお願いしたい。	R5	県道路管理者 警察	横断歩道設置基準→見通しが悪い。歩行者の安全が担保できない。横断歩道を設置する以前に、歩道が確保されていない。スクールバスの運行など、ソフト面での対応を検討。西側の水路は県の管轄ではない。	生徒の多くが自転車通学であり、横断歩道もないことからグリーンベルトの設置は困難。
461	国道422号から比自岐に向かう道路	柗川の児童2人が、スクールバス停留所に行く道が、道幅が狭く、車同士対向できないような道路を通る。朝の登校時には、交通量も多く、危ないため、緑色路側帯（グリーンベルト）の設置をお願いしたい。	R5	県道路管理者 学校	バス停を踏切付近にもう1箇所設定すればよいのではないかと。グリーンベルトを設置するには狭い。	バス停の追加を検討していただきたい。

【成和東小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
71	西出公民館の西 西出十字路	南部から上野市街への道として利用する車が絶えない。児童が横断するにあたり危険。【R5】南北に通っている道路の交通量が多いので、その道路の交差点付近にカラー舗装を施してほしい。保護者からの要望も上がっている。	H27 R5	教育委員会 警察 市道路管理者		ハード面での対策は困難。
462	国道368号線山出団地入り口付近	歩道のすぐそばにソーラー設置のための造成工事が行なわれている。山肌がむき出しになっており、雨が降るとその山から土砂が歩道に流れる危険性がある。雨の日は登下校とも土砂崩れが心配と言うことで、そこを通る児童の保護者は車で送迎をしている。学校として通学路の変更も検討議題として申し出たが、それには4車線の国道を2度横断せねばならず、保護者は事故を危惧しており変更には至っていない。	R5	県道路管理者 警察	造成工事については所管する部局が対応している。歩道に土が流れている等は県建設事務所へ連絡。歩道に工事車両が停まっている等は警察へ連絡。	所管する部局で対応中（県）
463	山出地区 勝因寺付近横断歩道	国道368号線からの抜け道として利用する車が絶えない。また、6月から9月まで学校近くの工場で工事が有り、工事車両も通る。その道を児童が横断するのが非常に危険である。横断歩道があることをドライバーからよくわかるようにし、児童が安全に渡れるようにその道路の横断歩道付近にカラー舗装を施してほしい。	R5	県道路管理者 警察	横断歩道、ポール、旗等すべて整っている。この上何かをすると、逆にドライバーがキョロキョロして危険。横断歩道の塗り直しは今年度中に行う。	横断歩道塗り直し済。（警察） カラー舗装は対応困難（県）
464	学校前北側道路	学校北側道路は道幅が狭く、曲がりくねっている箇所も有り見通しが悪い。今年から新しく大規模病院が開院したことにより、交通量が増加した。特に児童の登下校に係る時間帯は交通量も多くなり危険が伴う。路側帯を広げ、ガードレールの設置するか、時間帯による交通の規制などの対策をお願いしたい。地域住民、保護者からの要望がある。	R5	市道路管理者	岡波病院移転後、交通量が増えた。一方通行は地域住民に影響が大きいためできない。道路幅等の関係で横断歩道設置も難しい。区画線を引き直して経過観察。民地にもお願いして、「通学路注意」のようなのぼりや看板を立てている地域もあるが、管理が難しい。（市教委か自治会が予算を出し、管理することになる）	令和6年度グリーンベルト検討。 車道を狭める地区協議をお願いしたい。
456	国道368号線からの下河原橋	児童は国道368号線沿いの歩道から下河原橋を左折するが、横断歩道がなく、国道から曲がってくる車が歩行者に気づかないことがある。大変危険なため、横断歩道をつけてほしい。あわせて橋に歩道を示す白線、歩道があることを示すカラーを施してほしい。	R5	市道路管理者	今年中に国道が4車線化。完成によって車の流れも変わるため、完成してから様子を見る方向で。橋上から通学路方向の区画線の引き直し。	1
466	国道368号線センターランドへ向かう歩道の信号	センターランドへの横断歩道の信号機の時間が短く、児童が渡っているときに点滅し始める。1年生もいるので危険を感じている。登下校時の横断歩道の信号の時間をながくしてほしい。地元からも声が上がっている。	R5	警察	登校時、調査を行う。結果によって青信号の時間を検討する。	渡り切れるので、現状のままが望ましい。

【成和西小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
467	学校前 国道25号線 横断歩道	学校前の横断歩道は、スクールバスを利用する多数の児童が登下校時に利用しています。国道25号線は、名阪国道へのアクセス道路で近くの工場への道路にもなっています。交通量が多く、信号もないため毎日登下校の時は街頭に立って安全確保に努めています。グリーンベルトの設置とスクールゾーンの舗装を願いたい。	R5	警察 学校 県道路管理者	信号はつかない。バスを停める場所を変更できないかバス会社と相談。(道路を避らなくていい場所に停車できないか)	横断歩道からバス停までグリーンベルトを設置済。(県)
468	学校前 国道25号線 横断歩道	学校前の横断歩道は、スクールバスを利用する多数の児童が登下校時に利用していますが、横断歩道の白線が消えかかっています。国道25号線は、名阪国道へのアクセス道路で近くの工場への道路にもなっています。交通量が多く、信号もないため毎日登下校の時は街頭に立って安全確保に努めています。視認性を良好するためにも早急に横断歩道の塗装直しが必要である。	R5	警察	優先順位をつけて順次塗り直し。	来年度以降、順次塗り直し。
469	学校前 岩井橋	学校の敷地及び校舎に入る市道の岩井橋の幅が狭く、住民の生活道路となっているため、交通量が多い。 歩行者用の橋がなく、車道と同じなので危険である。橋が劣化してきているので補修していただきたい。冬の積雪の時期は融雪剤をしいてはいるものの滑りやすく、強雨の時は一部分に水がたまる。全校児童が登下校する際、危険である。歩行者用の橋を設置していただきたい。	R5	市道路管理者	新設は難しい。幅4mで十分な幅はある。排水溝の清掃で、水がたまることについては経過観察。	令和5年度、岩井橋歩道橋清掃済

【三訪小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
93	大谷地区422交差点	<p>一時停車しない工事車両がある。横断歩道が消えている。</p> <p>平成30年度に422号バイパスの共用が開始されると、交通量も増加することが予想され、通学路がバイパスを横断しているため、信号の設置、横断歩道の再整備は不可欠である。(H29年度追記)</p> <p>↓</p> <p>平成30年度、422号三田坂バイパスの開通にともない交通量が増加。通学路がバイパスを横断しており、横断歩道の整備だけでは不十分であるため、信号の設置が必要。また、北（上り）向き車線には減速を促す電光掲示板が設置されているが、スピードの出る南（下り）向き車線には減速の表示がないので、早急な設置が必要。</p> <p>『通学路』立て札を422バイパス上下道から確認できるよう南北向きに2箇所設置を申請。(H30年度改)</p> <p>【R5】横断歩道前後カラー舗装をしてほしい(横断児童14人)</p>	H27 R3 R5	警察 県道路管理者	道路にし形マークや横断歩道の標識、電光掲示板、立て看板も設置済み。道路の見通しはかなり良い、これまで事故は2件のみと少ない。 歩行者用信号の設置は、事故もない車の通行量から考えて難しい。現段階では、地域の見守り運動、運転者のマナー向上を呼び掛ける。通学路でない部分の着色は難しい。	これ以上の対策は難しい。
175	J R 伊賀上野駅前から西に向かって野間に抜ける道の踏み切り手前の狭い箇所	交通量が多く、車両が速度を落とさずに通過するなど大変危険である。	H28 R5	市道路管理者 教育委員会	グリーンベルト検討	R6度グリーンベルト検討。 車道狭める地区協議願いたい。
323	J R 伊賀上野駅前東側踏切の南北両側	登校時に幅の狭い道路から大きい道路を横切るのに横断歩道がなく、グリーンベルトもない。三叉路を右側通行させるために横断しているが、児童らは出勤時の渋滞の車の間を横断することもあるため、車の死角となり、児童が横断することが分かりづらい。特に雨の日は車からも見えにくく、大変危険である。また、下校時は横断歩道のない、踏切の北側を横断することになる。	R3 R5	教育委員会	グリーンベルト検討	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
326	諏訪地区市民センター前	登下校時、スクールバスに乗るために、諏訪地区市民センターに向かって422号三田坂バイパスを横断するが、横断歩道がないため、大変危険である。普通車だけでなく、大型車の通行が多くスピードがでてくる車も多い。また、横断歩道があっても、北側から走行すると上り坂になっているため、子どもの横断の状況が見えにくい。点滅信号があれば、児童の横断を見逃す危険性が防止できる。 加えて、地域の子どもが遊具等もある諏訪地区市民センターの運動場に遊びに行く機会もある。	R3	警察 教育委員会		ソフト面での対応を願いたい。
404	三訪小周辺、J R 伊賀上野駅前東側踏切付近 J R 伊賀上野駅前、INAX工場周辺	通勤する車両や駅・保育所へ送迎する車両と児童の通学時間帯が重なり、危険である。児童の登下校の安全を確保するため、車の通りが頻繁な道路に歩行帯を塗布し、車両運転者に注意喚起をしたい。	R4 R5	市道路管理者	グリーンベルト検討	令和6年度グリーンベルト検討。 車道を狭める地区協議を願いたい。
470	三訪小から西へL I X I L 工場周辺までの通学路範囲 児童の通学時刻に交通量が多く、大変危険である。グリーンベルト塗装をしてほしい。	キッズゾーン塗装をしてほしい。通過児童数(30人)	R5	市道路管理者	グリーンベルト検討 警戒標識も検討	令和6年度グリーンベルト検討。 車道を狭める地区協議を願いたい。

【柘植小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	合同点検結果等	
						令和6年3月31日時点対策状況
328	伊賀コリドールロードと大和街道の交差するところ（柘植町野村区 大師堂前交差点）	伊賀コリドールロードの上柘植交差点（ローソン横）から北は、道幅が狭く、右にカーブしている上に、大型車の通行量が非常に多く、大師堂交差点へはスピードを上げてつっこんでくる車が多い。過去には横断歩道を渡る児童が事故に巻き込まれる事件も起こっている。その危険性から本校でも通学路見守り隊を組織して、登下校での子どもの横断を見守っている交差点である。歩行者信号が青になり児童が横断歩道を横断しようとする目の前を大型車がスピードを出して通り過ぎるという事案が今年度になってからも複数回発生している。なお、上柘植交差点を通る通学路への変更に対しては、地域・保護者とも強く反対を示している。 車道の路側帯のラインが一部薄れてきているので書き直してほしい。 本交差点に南側から進入する車に減速を促す減速帯の設置をお願いしたい。 また、抜本的な対策として、コリドールロードを横断するための歩道橋または地下道の設置の検討をお願いしたい。	R3 R5	県道路管理者 教育委員会	歩道橋を設置すると横断歩道は撤去となる。地域住民としてはどうか。子どもは歩道橋を使うだろうが、年配の人にとってはどうか。 すでに減速を促す白線はある。そのうえでカラーをつけるのは効果として疑問。より一層の効果を見込むとランプ(段差)だが、騒音が出る。 ハード面の対策はフルベックに近い。 地下道は防犯上のリスクが上がる。 警察に地元からの要望があり(赤でも止まらない(気づかない)車があり)、警察が現地状況確認。歩行者青・朝15秒、夕方10秒であったが、夏休み前、終日18秒に設定。車が停まったことを確認できる時間を確保した。	ラインの塗り直し対策済。 信号対策済。
405	小杉区内伊賀コリドールロードのグリーンベルト	コリドールロードに引かれているグリーンベルトの端より更に西へ約300m進んだ所から児童が通学している。この区間は、付近に家がないため、カーブした道を自動車スピードを上げ、外側線をまたいで通過していくことが多い。通学上の安全確保のため、グリーンベルトの西側への延長をお願いしたい。	R4 R5	県道路管理者	安全確保のためR4年度に路肩を拡張しており、グリーンベルトの設置は困難。	グリーンベルトの設置は困難。
406	草津伊賀線の倉部信号交差点から東側の道路に歩道を設置してほしい。	小杉区の児童は、登校時、倉部交差点までは歩道を歩いてくるが、交差点を渡った後は、歩道がなく、細い道の北側を左側通行で歩かざるを得ない。特に朝は滋賀県方面から来た車が交差点を左折して柘植駅へ向かうことが多く、児童が巻き込まれるような事故がいつ起こってもおかしくない状況であるため、交差点から踏切までの北側に歩道の設置をお願いしたい。	R4 R5	県道路管理者	北側の外側線を内側に引き直すことを検討したが道幅（5.3m）を考えると困難であるため看板の設置を検討。	「通学路注意」看板を設置済。
408	大和街道の中柘植区、上村区、野村区通学路南側にガードパイプを設置してほしい。	通学路に沿って南側に深い溝が続いている。低学年の身長ほどの深さがあるところもあるが、柵や溝蓋などがないため、毎年登下校途中の児童が溝へ落下してけがをする事故が発生している。幸い大事には至っていないものの、該当地区の保護者や地域からは心配の声が絶えない。児童の溝への落下を防ぐため、ガードパイプの設置をお願いしたい。尚、かつて、路側帯をひく対策も案として出されたが、車道が狭くなることで余計に児童が安全に歩ける幅が狭くなること懸念があり同意を得られなかった。今回は、大師堂交差点から東側へ数十mの場所に設置されているようなガードパイプを拡張してほしいという要望であり、該当3地区の区長も本内容について了承している。	R4 R5	市道路管理者	水路は何に使用しているか。蓋をするにも個人の土地を買収する必要がある。クリアしてもらえるのであれば要望に近い対策は可能。 ガードパイプは道が狭くなる。外側線を北側に引いてみて試験的に様子を見てみるのはいかがでしょうか。	ガードパイプは車両通行を考えると困難 今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
471	大和街道の上町地区通学路両端に歩行者用白線とグリーンベルトを塗布してほしい。	車道と歩道を分ける白線がほとんどなく、カラー舗装も所々消えている。登下校において車との接触事故につながる危険があるため、白線・カラー舗装をお願いしたい。通学児童17名	R5	市道路管理者	既存のもので対策しやすい。外側線、カラー舗装の塗り直しを検討する。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。

【西柘植小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検 実施年度	施策を行う 主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
103	県道伊賀甲南線愛田橋下柘植IC側	名阪国道下柘植ICから国道25号の区間は、周辺の工業団地から流入する大型車交通が特に多い。愛田橋の歩道は道路西側であるが、下柘植IC側の歩道は東側であるため、愛田橋手前の見通しが悪いカーブ区間で児童が車道を横断せざるを得ない危険な状況となっている。歩行空間の整備や、視線誘導、注意喚起等の対策が求められる状況である。	H27	県道路管理者		継続。令和6年度完了予定。
409	霊峰中運動場の南側 柘植川に沿って旧大和街道	中学生が、登下校の際に、この道を自転車で通学しているが、道幅の狭いところもあり、カーブで前方が見えないため、膨らんで走行してしまっている。そのため、地域住民の方から自動車との接触事故等の心配があると、何度も指摘されている。道幅の拡張は物理的に無理なので、スクールゾーンとして、道を色で塗り分けていただくか、標識や道路にスクールゾーンと時間帯の表示をしていただきたい。	R4	市道路管理者		今年度、外側線施工予定。
472	御代区地内県道2号主要地方道伊賀青山線の御代756番地付近から名阪国道御代インター御代架道橋南詰まで	中高生の通学路になっているが、通勤・通学の時間帯には車両も多く、スピードも出ていて危険な状態である。壬生野インターや下柘植インターの出入口には信号が設置されたことから、御代インターの出入口に信号がないため、車両の通行量が以前よりも多くなり危険度が増している。中高生の通学路の安全確保のため歩道を設置をお願いしたい。	R5	県道路管理者	歩道設置は困難であるため、路肩の舗装部分を30cm～50cm拡幅することを検討。	路肩の舗装部分を拡幅済。

【壬生野小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検 実施年度	施策を行う 主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
113	金谷地区から県道に出る所（消防小屋前）	ゆるやかなカーブで見通しが悪い。	H27	市道路管理者		再度確認を行い、対策が可能かどうか検討する。
473	小学校の東側森田自動車から小学校へ向かう道	ゆるやかなカーブで見通しが悪く、下り坂になっている。そのすぐ先に学校前の横断歩道があり、大変危険である。令和4年に対策をしていただいた箇所以外の施策をしてほしい。グリーンベルトを設置してほしい。通学児童数107名	R5	県道路管理者	歩道があるので、グリーンベルトはできない。	対応困難
474	小学校から川東の郵便局までの道	ゆるやかなカーブで見通しが悪く、道が狭い。学校付近で多くの児童が登下校する道であり大変危険である。グリーンベルトを設置してほしい。通学児童数54名	R5	県道路管理者	歩道があるので、グリーンベルトはできない。	対応困難
475	伊賀市山畑 勝手神社前交差点（横断歩道あり）	希望ヶ丘方面からの児童・生徒が利用している交差点である。希望ヶ丘方面から勝手神社に渡る際、道路左側に塀があり、西から東に向かう車両の接近が全く見えない。6/28には、本校児童（自転車）と軽トラックが接触する事故が起こった。カーブミラーが2方向に設置はされているが、大変見づらい。また、いずれの方向にも停止線がないため、一旦停車することなく、互いが通行することが多いため、これまでも何度となく事故が起きているそうである。停止や減速を促す道路標示やミラーの設置等検討していただきたい。	R5	市道路管理者	交差点部分が明確になるよう、ラインを引いたり、T字を書いたりすることを今後検討。 横断歩道自体、道路の前にあり、今の規則をクリアできない。横断歩道はそのままにして、外側線を引いたり、Tを書いたりして、車が減速したり気をつけたりできるようにする。	令和6年度路面表示等検討。 車道を狭める地区協議を願いたい。

【島ヶ原小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
334	県道島ヶ原停車場観音寺線	登下校の際に旭出橋西側を横断するが、横断歩道がなく、通行量も多いので、横断歩道を設置してほしい。	R3	警察		現地調査を実施したところ、交通量は少ないため、横断歩道の新設は困難。
476	島ヶ原大橋歩道橋	歩道橋欄干のベンキがはがれてさくれ立っている。欄干に触るとはがれたベンキが手に刺さり危険。塗り替えていただきたい。	R5	県道路管理者	予算により検討。5年に1度点検がある。	引き続き予算の確保に努める。
477	町区 横断歩道	歩行者用の信号機がないので設置してほしい。	R5	警察	すでに検討済み。土地的に立てられない。	困難。
478	鶴宮神社下 一時停止白線	一時停止白線が消えている。	R5		神社に確認。	神社に確認。
479	中村区あさひで橋横の一般車両進入禁止標識	進入禁止の標識がさびて見えないので新しくしてほしい。歩行者を意識するためにグリーンベルトの設置。	R5	県道路管理者 警察	標識は警察で検討。 グリーンベルトを設置する前に路側帯の確保をする。路側帯を確保すると車の通る幅が狭くなるので、地元の了承も必要となる。まずは外側線から。	標識は警察で検討。 外側線を設置済。(県)
480	大道区 梶川様宅市道	子どもの横断の様子が見えないので注意喚起の看板などの設置とグリーンベルトの設置。	R5	市道路管理者	注意喚起の看板を建設管理課へ申請。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
481	中矢区 坂出 歩道がない	アスファルトのへこみ グリーンベルトの設置	R5	市道路管理者	へこみを直すことを検討。何人の生徒が通るか、どこからどこまでグリーンベルトをひくか検討。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
482	中村区島ヶ原センター 中央配水管	天井雨漏り	R5	地域連携部 学校	道路部局の管轄ではない。修理は必要。	管轄の部局へ相談

483	中村区島ヶ原センター 中央配水管	割れている	R5	地域連携部 学校	道路部局の管轄ではない。修理は必要。	管轄の部局へ相談
484	中村区 小学校周辺 歩道がないので危険。グリーンベルトを設置してほしい。通学児童 39人	歩道が整備されていないので車のドライバーに通学路を意識させたい。	R5		通学路ではない。	通学路ではない
485	中村区 島ヶ原老人福祉センター付近から鶴宮神社 グリーンベルトの設置,交差点のカラー塗装をしてほしい。通学児童 50人	歩道が整備されていないので、車のドライバーに通学路を意識させたい。	R5	県道路管理者	グリーンベルトの設置を検討する。	グリーンベルトを設置済。
486	島ヶ原大橋から島ヶ原老人福祉センター付近 路面標示（スクールゾーン）の設置をしてほしい。境界部にガードパイプの設置をしてほしい。通学児童 50人	歩道が整備されているが、大きな道路なのでドライバーに通学路を意識させたい。	R5	県道路管理者	現地には路面標示（キッズゾーン）を対策済。ガードパイプの設置は道幅が狭いので対応困難。歩道が途切れるところから島ヶ原老人福祉センターまでグリーンベルトの設置を検討する。	グリーンベルトを設置済。

【阿山小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
142	阿山中学校横トンネル	車道側から不審者が見えず、大声を上げても騒音のために聞こえない。防犯ベル・回転灯・看板設置、根本的な構造の改革・電灯交換をお願いしたい。	H27	教育委員会		ソフト面での対策を検討してもらいたい。
147	県道高架下地下道	児童が犯罪に遭いやすく危険である。	H27	教育委員会		ソフト面での対策を検討してもらいたい。
342	下友田地区【別紙参照】 地蔵野のカーブへの歩道設置 (道路サイド、センターライン等修正) ※歩道の設置が実現するまで削除しない。	【阿山中学校より要望】 地蔵野のカーブに歩道がなく、危険なため歩道の設置をお願いしたい。(また、横断歩道の修正等をお願いしたい。) ※歩道の設置が実現するまで削除しない。	R3	警察 県道路管理者		対策済。
412	大江口～金臺寺間の703号線馬場大江線 伐採作業や歩道の整備	2017年には倒木、2018年にはハチの巣などで登校に支障をきたし、また木が生い茂っていることで、落ち葉が多かったり日差しが少なく凍結したりすることで、滑りやすくなっている。	R4	市道路管理者		基本的に山林所有者が適切に維持管理を行うべき。まず、自治会、学校から所有者に言ってもらいたい。
413	県道674号線(丸柱地区) 歩道の設置と樹木の伐採	【阿山中学校より要望】 阿山中学校から石川地区にかけては歩道が設置されているが、その先の丸柱地区にかけては車道を自転車で通学しており、交通量が多大変危険。 また、樹木が覆いかぶさっており見通しも悪くなり、自転車と接触する恐れがある。	R4	県道路管理者		樹木の伐採は令和4年度に対策済み 石川地区から順次路肩拡幅を実施中。
414	県道49号線と674号線が交わる交差点(阿山中学校前)から200mほど南下した五叉路 右折禁止と横断歩道の再塗装と補修	【阿山中学校より要望】 南進車が右折する際に横断歩道の自転車と接触する危険があるため。また、横断歩道の中央部にアスファルトの痛みがあり、置いて転倒する恐れがある危険。	R4	県道路管理者		道路の補修は令和4年度に対策済み。 車道を狭めて歩道を拡張することについては地元の了解が得られないため対策は困難。
415	県道673号から676号の間の道 下川バス停付近 道の両側にグリーンベルト対応、または、注意喚起の看板設置やスピードの取り締まりなど、それ相応の対応を	歩道が狭く、1車線しかない道幅にもかかわらず、通行する車両がかなりのスピードを出して走行しているため危険。	R4 R5	市道路管理者	だいぶ消えかかっているラインの引き直し。グリーンベルトを検討	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。 外側線引き直しは令和5年度度施工予定。
416	千貝地区 白線の再塗装	白線が見えなくなっており、車道と歩道の境目が見えづらく、危険。	R4	市道路管理者		外側線引き直しは令和5年度度施工予定。
418	馬場地区 ガードレール設置	道路と建物間に隙間があり、高さが2～3mあるため危険。	R4	市道路管理者		地域での見守りや通学路の変更、逆側の歩行等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
487	横山地区 横断歩道の修正	【阿山中学校より要望】 「カラオケあやま」前の横断歩道の白線が消えている。	R5	警察	塗り直し検討。早ければ今年度中。 無理でもリストには入れる。	塗り直し済。
488	河合地区 県道上友田円徳院線 川合端南詰め グリーンベルト設置	市道との交差点において、横断歩道のない歩道を渡っており、かつ市道から車の見通しが悪く、通学中の児童を確認しにくい。通学児童15名	R5	学校	横断歩道は難しい、自治体で話し、ソフト面で対策。	県道と農道の交差点 対策困難 看板等検討していただきたい。
489	河合地区 県道上友田円徳院線 グリーンベルト設置	アパート「リビティヒルズ」前に横断歩道がなく、八丁口の横断歩道を利用するが、その間西側には歩道がなく、道路幅も狭い。	R5	県道路管理者	横断するが、路側帯を歩くとどちらを選ぶか。業者に頼んでフェンスに注意を促す看板をつけさせてもらう。川側にも看板は設置できるが、だれが管理するか。	ソフト面での対策を検討してもらいたい。
490	河合地区(波敷野) 市道 横断歩道の修正	横断歩道が消えかかっている	R5	警察	塗り直し検討。早ければ今年度中。 無理でもリストには入れる。	塗り直し済。

491	河合地区 市道 歩道の確保	水路沿いの草や土が堆積され、雨が降っただけで歩道に水がたまる。	R5	市道路管理者	両サイド、外側の掃除。	土砂清掃は令和5年度実施。
492	河合地区（馬田） 県道 歩道の確保	雨降りの際、道路に水がたまり、「泥はね運転」される。また歩行困難。	R5	県道路管理者	オーバーレイして水がたまりやすくなっている、方法を検討。	水がたまらないよう対策を実施済。
493	玉滝地区 県道 ガードレールの設置	バス停までの通学路で、交通量も多くガードレールが少ししかない。	R5	県道路管理者	車両の乗り入れ部や埋設物があり、ガードレールの設置は困難であることからラバーボールの設置を検討。	令和6年度に設置予定。
494	阿山小学校北側 市道 「止まれ」標識の移動	標識により、大型バスが入れない。	R5	学校	学校負担で移動できるか。保護者の送迎もあるのでバスにがんばってもらえない。	対策困難。
495	河合地区 県道 電柱の移設	道幅が狭い道路で、路側帯も狭く、側溝の上を歩くか道路にはみ出して歩いている。	R5	県道路管理者	以前からあるN T Tの電柱で、位置をずらすのは難しいと思われる。	対応困難。

【大山田小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	合同点検結果等	令和6年3月31日時点対策状況
343	大山田農林業公社横	交通量が多く、交差点は見通しが悪いので、押しボタン式の信号機を設置してほしい。	R3 R5	警察 市道路管理者	現在、横断歩道、ひし形マーク、看板等すべてそろっている。横断歩道直前のカラー化も検討はするが、難しいだろう。一応検討する。引き続き、地域の方にも助けてもらうなど、ソフト面での対応もしていく。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
420	鳳凰寺酒米交差点付近	通学時に交通量が多く、信号がない道路である。スピードを出して通過する車も多いので、道路を横切るのが危険である。信号機を設置してほしい。	R4 R5	警察 県道路管理者	※警察より、横断歩道のカラー化について、横断歩道は法律で白色と決まっている。横断歩道の間に色をつけるというのだが、警察としては推奨しない。横断歩道の間は道路管理者の範囲。三重県ではほぼ実施していない。横断歩道直前のカラー化を検討。	横断歩道の直前のカラー化について、県道の路側部分にグリーンベルトを設置済。(県)
421	上阿波・平松のバス停付近	国道163号線に歩道・横断歩道がないので設置してほしい	R4	警察		ソフト面での対応を願いたい。
496	千戸公民館横横断歩道	道路がなめらかな上りになっていて、そのつべんに横断歩道があるため横断歩道が見えにくい。そのためスピードを出して通り抜ける車が多く、道路を横断するのが危険である。横断歩道のカラー化および横断歩道の直前をカラー化していただきたい。(通学児童5人)	R5	警察 市道路管理者	ひし形マークの塗り直し、カラー化等検討	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
497	出後地区から主要地方道上野大山田線を渡り富岡地区へ行く横断歩道	横断歩道はあるが、長い直線道路であるため車がスピードを出して通ることが多い。そのため道路を横断するのが危険である。横断歩道のカラー化および横断歩道の直前をカラー化していただきたい。(通学児童5人)	R5	県道路管理者	横断歩道直前のカラー化、別の対策も含めて検討する。	看板設置を検討。
498	平田地区防災広場から植木神社までの道路	児童が歩く路側帯の白線や横断歩道の白線が消えているので塗り直してほしい。(通学児童40人)	R5	市道路管理者	外側線塗り直し検討。 途中点線のところあり(駐車禁止)←実質必要ないとおもるので、削除する方向で。点線の経緯はわからない。現在規制はかかっていない。復元は実線でかまわない。 グリーンベルトは塗れるか、そこまで地域と話をしたい。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。 一部破線？は駐車表示ではない。
499	津島神社の交差点	道路がまっすぐではない交差点であり、一旦停止をせずに走る車もあるため、児童の横断が危険である。カーブミラーの増設、交差点のカラー塗装をお願いしたい。(通学児童15人)	R5	市道路管理者	検討する。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。 カーブミラーについては立てる場所もなく、新設はほぼしていないため困難。
500	大山田中学校前点滅信号	点滅信号のすぐ先に信号機があるため、生徒が横断しようとしたときに通過する車も多く危険である。「この先信号機あり」「スクールゾーン」の看板を設置してほしい。(通学生徒13人)	R5	警察 県道路管理者	信号、看板等あり。ほかに何ができるか検討。 スクールゾーン表記検討。 ソフト面で安全確認等の必要性を生徒に指導。	R6年3月末までに増灯予定(警察) 「スクールゾーン」の路面標示については、路面標示するのに適切な位置に「バス停注意」の路面標示を設置済みであることから対策は難しい。
501	福川氏城跡付近(大沢団地から千戸地区へ抜ける道)	道路に苔が生えていたり、落ち葉が落ちていたりするため、雨の日の後は道路が滑りやすく危険である。道路が滑りなくなるように舗装してほしい。(通学生徒33人)	R5	市道路管理者	苔が原因。苔を除く薬品等あるのか。	今後、舗装修繕若しくは路面清掃を検討する。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。

【青山小学校】

通し番号	通学路の危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	合同点検実施年度	施策を行う主体	令和6年3月31日時点対策状況	
					合同点検結果等	
357	別府。城医院のある交差点。	城医院がある交差点で、児童が南北方向に道路を横断するが、伊賀コリドールロードへの近道として東西方向に自動車スピードをあげて走っている。児童が横断する交差点であることがわかるようにしてもらいたい、車のスピードが出ないよう「スクールゾーン」と路面に表示する等の対応をお願いしたい。	R3	市道路管理者	事故が時々ある。「歩行者注意」と書く。交差点内カラー舗装、外側線検討	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
358	別府から柏尾へ向かう道。	この道は、工業団地につながる道で、車がスピードをあげて走っていることが多い。児童は、歩道のないところを通学団で歩いているが、毎日危険である。通学路であることを知らせるために「スクールゾーン」と路面への表示をする、自動車の減速を促すような看板を設置する等の対応をお願いしたい。	R3	教育委員会 市道路管理者	スクールゾーンと路面に書くか、警戒標識。引き直しをするなら、山とは反対側にもう少し幅を広くして。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
359	阿保。青山小学校からさくら保育園へ向かう道。	この道路は道幅が狭く、両端に白線はあるが、通学児童のすぐ横を保育園への送迎の車がスピードをあげて走るので、とても危険である。車のスピードが出ないよう、「スクールゾーン」と路面へ表示する、減速や徐行を促す看板を設置する等の対策をお願いしたい。	R3	教育委員会 市道路管理者	幅がないので難しい。地域の方に見守りを依頼。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
360	桐ヶ丘5丁目。団地内交差点。142番地、248番地、133番地それぞれの交差点。	通行車両が多い。メイン道路ではないが、長い直線道路なので、自動車はスピードが出ている。また、交差する自動車も停止線がないため、何度が事故が起きている。小学校からの看板を立ててある交差点もあるが、目立たないため、停止線や自動車を運転する方にわかるような看板を設置してほしい。	R3	市道路管理者		来年度は水道工事無いが、水道工事に合わせて区画線施工検討する
430	桐ヶ丘メイン道路	子どもたちの登下校中の交通事故から守るため、桐ヶ丘のメイン道路にガードレールの設置を要望する。	R4	市道路管理者		令和4年度対策済
502	桐ヶ丘1丁目、団地内1番地から139番地にか	16人の児童が登下校で利用しているが、桐ヶ丘メイン道路に通じる道として車の往来があり白線等もなく危険であるため、グリーンベルトを設置してほしい	R5	市道路管理者	片側に幅1mのグリーンベルトを検討する。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。
503	県道29号から大村神社への道路	2人の児童が通学しているが、横断歩道が薄くなり、スピードを出している車が多く通り危険なため、グリーンベルト等を設置してほしい。	R5	市道路管理者 警察	交通量多い。とばす車も。警察で「とまれ」塗り直しを検討。道幅が狭く、民家も多いので、グリーンベルトを設置するほどのスペースがない。まずは外側線を引くことも一つの案。	今後、路面表示の効果等も検証しながら、事業化の判断を行う。同時に地域での見守りや通学路の変更等、ソフト面での対策の検討を行っていただきたい。地元車両が多い。